

ぱーとなー

2009年12月

第95号

◎ 耳原総合病院の基本方針は「すべての方に 24時間 365 日、質の高い医療を、地域と共に提供し続ける」ことです

11 月 14 日（土）耳原総合病院合同カンファレンスルームにて『地域連携学習会』を開催。
開業医様を中心に 22 院所 24 名のみなさまに御参加いただきました。

11/14（土）22院所24名様参加

地域連携学習会開催

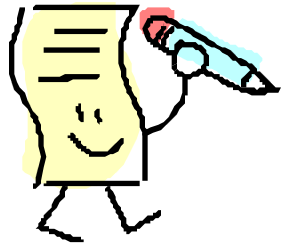


当院院長松本久医師のあいさつにより開会。
講演会では、外科 吉川健治医師より、「当院における肝胆膵腫瘍への取り組み」と題して、当院における肝胆膵腫瘍の治療の概容、肝癌術後患者・ウィルス性肝炎・肝硬変症例における地域連携診療の提案、当院における乳腺、甲状腺腫瘍の取り組みが報告されました。
次に、放射線科 岩本卓也医師より「画像診断の進歩と I V R」と題して、C T ・M R I ・P E Tそれぞれの推移と到達、特徴など報告されました。また、放射線科と画像診断を通じた地域医療連携が行なわれていることや、医療連携をすることでの診療報酬の点からみたメリットなども報告されました。
参加いただきました開業医様からも、ご質疑いただき、活発な議論がされました。

耳原総合病院の理念

- 耳原総合病院はこんな医療をめざしています
- 安全・安心・信頼の医療
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます
- 無差別平等の医療
私たちは人権を尊重した医療をすすめます
- 患者負担の少ない医療
私たちは室料差額はいただきません
- 地域とともに歩む専門職の育成
人権感覚をもつ専門職を養成します

今後も、当院の医療活動報告や、開業医様のご興味のあることなどをテーマに、学習を中心とした場も、設けていきたいと考えております。ぜひ、ご参加ください。



プログラム

- 16：00 座長 田端志郎医師（E R 部長）紹介
- 16：00 院長 松本久医師よりあいさつ
- 16：05 講演①
「当院における肝胆膵腫瘍への取り組み」
講師：吉川健治医師（外科）
- 16：45 質疑応答
- 17：00 講演②
「画像診断 I V R の進歩」放射線科
講師：岩本 卓也医師（放射線科）
- 17：45 質疑応答
- 17：55 閉会挨拶 田端志郎医師

～各講演スライドより～

耳原総合病院における肝胆膵腫瘍治療患者数	
2005年1月～2009年10月	
肝癌(胆管細胞癌含む)	252例
膵癌	52例
胆嚢癌	18例
胆管癌	2例
乳頭部癌	1例

耳原総合病院における肝癌治療実績	
2005年1月～2009年10月	
肝切除	65例
肝動脈塞栓術	292例
局所治療(ラジオ波療法 アルコール注入療法)	28例
治療関連死亡なし 全例徒歩退院	

放射線科医の仕事	
＊診断・IVR	
1. 単純X－P(胸部写真、腹部写真など)	
2. 造影X－P(胃透視、注腸、尿路造影など)	
3. 超音波断層(エコー)検査	
4. CT (computed tomography)	
5. MRI (magnetic resonance imaging)	
6. 核医学(シンチ、PETなど)	
7. 血管造影(angiography)：主にIVR	
＊放射線治療	
腫瘍の治療、疼痛緩和などの目的に放射線を照射	

放射線科と画像診断を通じた地域医療連携	
・放射線科は撮影と画像診断のみを目的とする。	
・紹介状の内容に基づいて放射線科医が最適な撮影方法の指示と読影を行い、その結果を紹介元に返送する。	
・放射線科では、検査予約することで検査当日の1回の来院のみで対応しており、通院の負担や医療は最小限となる。	

耳原総合病院地域医療室

電 話 0 7 2－2 4 1－0 3 2 4

F a x ① 0 7 2－2 4 1－0 2 0 8

F a x ② 0 7 2－2 4 1－0 6 7 0

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。
折り返しF A Xにて予約票をお送りします。☆☆☆
☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。
カルテ作成に必要な情報をF A Xして下さい。☆☆☆
☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際
① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆